

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター
鹿児島地方气象台

< 火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制が継続） >

新燃岳では、本日（11日）05時34分頃に新燃岳火口東側から小規模な噴火が発生しました。噴煙が火口縁上 300mまで上がり北東側に流れ、本日 09 時現在も継続しています。この噴火に伴う噴石の飛散は確認していません。噴火が発生したのは 2011 年 9 月 7 日以来です。

この噴火に伴い気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣しています。

【防災上の警戒事項等】

新燃岳では、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1）

新燃岳では、本日（11日）05時34分頃に噴火が発生しました。監視カメラでは噴煙が火口縁上300mまで上がり、北東側に流れ、本日09時現在も継続しています。この噴火に伴う噴石の飛散は確認していません。噴火が発生したのは、2011年9月7日以来です。

この噴火に伴い気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、降灰や火山ガスの調査観測を予定しています。

・地震や微動の状況（図 2）

火山性微動は、10月9日13時以降時々発生し、10日22時過ぎから発生した連続的な火山性微動は、本日（11日）09時現在も継続しています。

火山性地震は、多い状態で経過しているものと推定されますが、火山性微動が時々大きくなっており、見かけ上、火山性地震の回数が少なく計数されています。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、宮崎県及び鹿児島県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図 1 霧島山（新燃岳） 噴火の時の監視カメラの映像（上図：韓国岳、下図：猪子石）

新燃岳では、本日（11日）05時34分に噴火が発生し、噴煙が火口縁上300mまで上がり北東側に流れました。噴火が発生したのは2011年9月7日以来です。

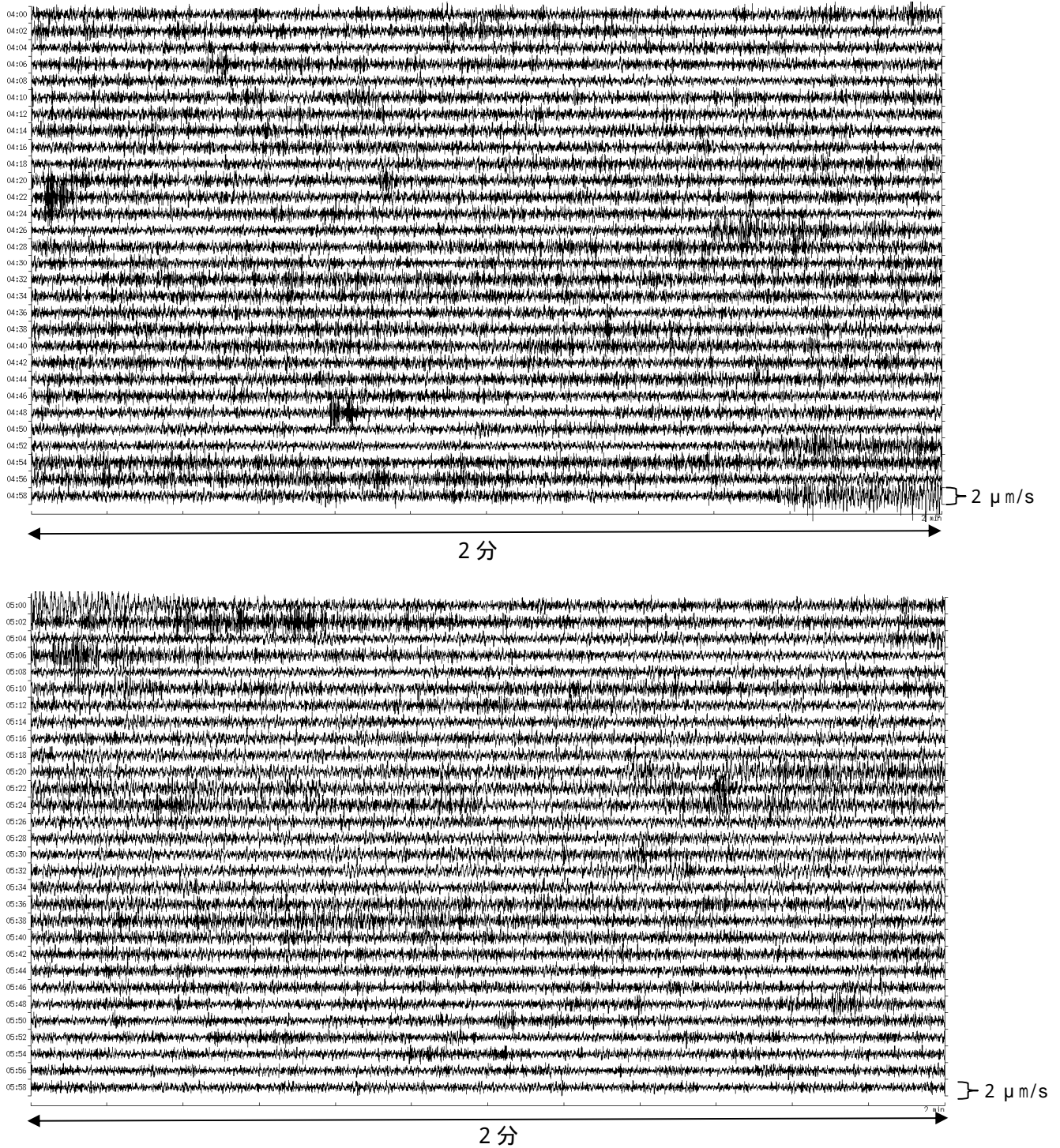


図 2 霧島山（新燃岳）火山性微動の発生状況

（新燃岳南西観測点南北成分 上図：2017年10月11日04時00分～05時00分）

下図：2017年10月11日05時00分～06時00分）

噴火に伴う明瞭な変化は認められない。

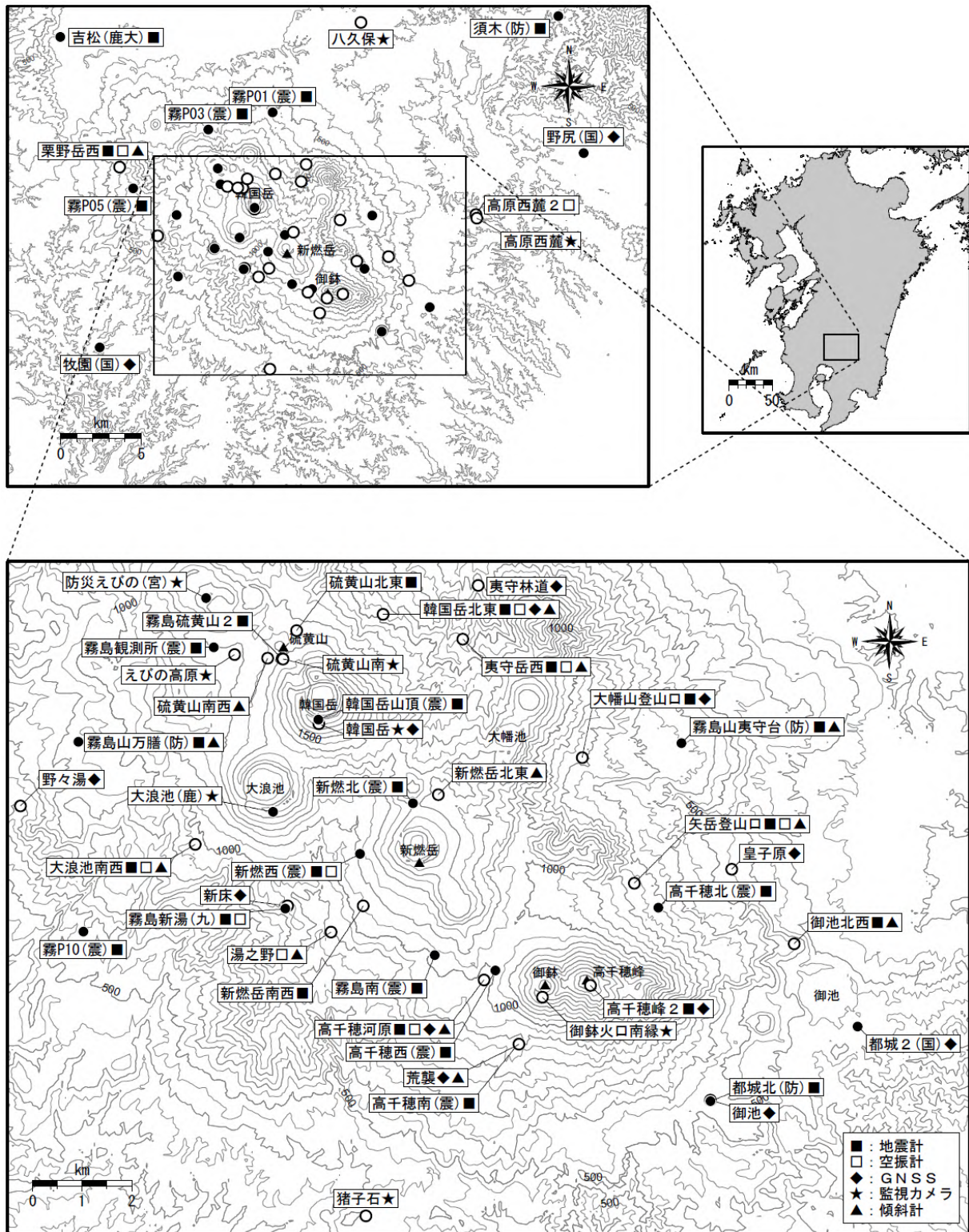


図 3 霧島山 観測点配置図

小さな白丸 () は気象庁、小さな黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所、(震) : 東京大学地震研究所
 (九) : 九州大学、(鹿大) : 鹿児島大学、(宮) : 宮崎県、(鹿) : 鹿児島県